

## 交通ルールを守ろう！

松崎幼稚園岩科園では、祖父母参観日に作った交通安全かかしを県道に飾り付けました。



# 平成24年度 一般会計

# 決算報告

総額35億358万円  
このように使いました。

厳しい財政状況ですが、橋梁の耐震補強補修事業、津波監視カメラ整備、松崎地区の浸水対策工事等、安心安全なまちづくりに努めました。

## 総務費 7億747万円

20.2% (前年対比 5,302万円増)

- ・ 財政調整基金積立金 …………… 1億7,048万円
- ・ 公共施設整備基金積立金 …………… 1億円
- ・ 路線バス対策事業 …………… 2,218万円
- ・ 花いっぱい運動推進事業 …………… 1,574万円
- ・ 地域経済活性化対策費  
(住宅リフォーム助成他) …………… 855万円
- ・ まちづくり事業  
(ピカ市、地域おこし協力隊他) …………… 659万円
- ・ コミュニティ活動推進事業 …………… 321万円
- ・ 交通安全対策事業  
(カーブミラー設置工事他) …………… 157万円

## 民生費 7億3,849万円

21.1% (前年対比 △2,098万円)

- ・ 障害者自立支援給付費 …………… 1億3,424万円
- ・ 後期高齢者医療事業(繰出金他) 1億2,738万円
- ・ 介護保険事業(繰出金他) …………… 1億1,872万円
- ・ 子ども手当 …………… 9,252万円
- ・ 国民健康保険事業(繰出金他) …………… 6,816万円
- ・ 保育所実施委託事業 …………… 5,572万円
- ・ 重度障害者医療費助成事業 …………… 1,912万円
- ・ 地域福祉推進事業  
(寿乗車券利用助成他) …………… 775万円

## 衛生費 4億956万円

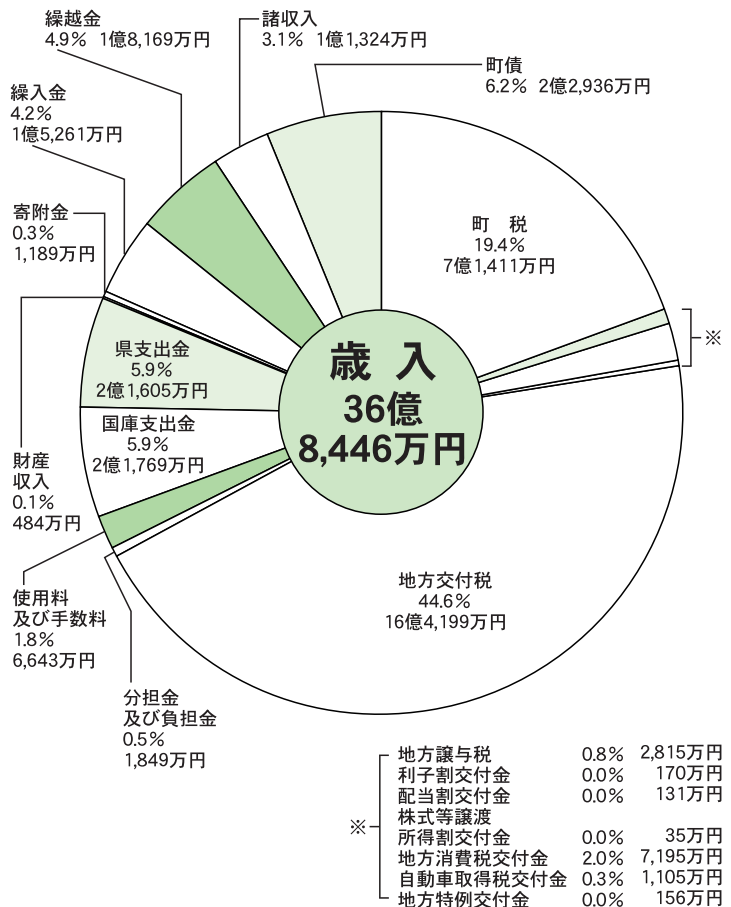
11.7% (前年対比 △1,988万円)

- ・ じん芥処理事業  
(清掃点検業務委託他) …………… 1億6,707万円
- ・ 西豆衛生プラント組合負担金 …………… 7,980万円
- ・ こども医療費助成事業 …………… 1,623万円
- ・ 老人健康対策事業  
(がん検診事業他) …………… 1,260万円
- ・ 予防事業  
(インフルエンザ・麻疹風疹予防接種事業他) …………… 936万円

## 農林水産業費 1億9,954万円

5.7% (前年対比 1,191万円増)

- ・ 漁港管理事業  
(雲見集排施設改築工事他) …………… 2,515万円
- ・ 農業振興事業  
(青年就農給付金他) …………… 1,039万円
- ・ 林業振興事業  
(間伐等林業再生事業他) …………… 920万円



### ○歳入の状況

歳入決算額は、36億8,446万円(前年度比9・0割の減)となりました。

町税が前年度比3,346万円の減、国庫支出金が2,300万円の減、地方交付税が591万円の減になる等、自主財源、依存財源ともに減額となる厳しい状況となりました。引き続き町税等の自主財源の確保に努めるとともに、起債や基金の計画的な活用による堅実かつ積極的な財政運営に努めます。

### ○歳出の状況

歳出決算額は、35億3,581万円(前年度比9・4割の減)となりました。

経常経費の内容精査を進め、無駄な経費の削減に努める一方で、橋梁の耐震補強補修事業や緊急避難路整備、津波監視カメラの設置、東日本大震災を教訓とした防災対策に重点を置いた施策を実施しました。

## 災害復旧費 3,462万円

1.0% (前年対比 3,462万円増)

- ・公共土木施設災害復旧事業  
(町道江奈門野線他) ……2,083万円
- ・漁港施設災害復旧事業  
(雲見・石部漁港) ……1,379万円

## 教育費 2億8,456万円

8.1% (前年対比 △4,011万円)

- ・テニスコート改修工事 ……2,565万円
- ・生涯学習推進事業  
(図書館運営費他) ……1,020万円
- ・遠距離児童生徒通学費補助金 ……738万円
- ・国際理解教育振興事業 ……504万円

## 消防費 2億702万円

5.9% (前年対比 △5,797万円)

- ・西伊豆広域消防組合負担金 ……1億3,739万円
- ・消防団運営事業 ……2,693万円
- ・消防施設整備事業  
(小型ポンプ車整備他) ……1,825万円
- ・災害対策施設整備  
(津波監視カメラ整備工事他) ……1,357万円
- ・災害対策事業(防災ラジオ他) ……1,088万円

## 土木費 2億4,337万円

7.0% (前年対比 5,487万円増)

- ・道路維持事業(道路維持工事他) ……9,189万円
- ・松崎地区浸水対策事業 ……4,287万円
- ・橋梁維持事業  
(南郷橋耐震補強補修工事他) ……3,870万円
- ・急傾斜地崩壊対策事業負担金  
(桜田、明伏、大沢、船田) ……900万円
- ・河川維持事業(河川維持工事他) ……362万円
- ・港湾管理事業 ……195万円

## 公債費 3億9,613万円

11.3% (前年対比 869万円増)

- ・元金 ……3億4,841万円
- ・利子 ……4,772万円

## 議会費 6,066万円

1.7% (前年対比 △629万円)

- ・議員報酬、手当等

歳出  
35億  
358万円

## 商工費 2億2,216万円

6.3% (前年対比 △3億8,213万円)

- ・観光施設整備事業  
(雲見千貫門遊歩道改修工事他) ……4,589万円
- ・観光振興事業(観光協会補助金他) ……3,991万円
- ・商工振興事業(商工会補助金他) ……1,194万円
- ・ふれあい交流推進事業  
(グリーンツーリズム推進事業) ……499万円

平成24年度一般会計決算性質別歳出内訳表

性質別	決算額	比率
人件費	6億6,435万円	19.0%
物件費	6億4,096万円	18.3%
維持補修費	2,846万円	0.8%
扶助費	3億5,126万円	10.0%
補助費等	5億1,408万円	14.7%
公債費	3億9,613万円	11.3%
積立金	2億7,058万円	7.7%
投資及び出資金貸付金	41万円	0.0%
繰出金	2億253万円	5.8%
普通建設事業費	4億20万円	11.4%
災害復旧費	3,462万円	1.0%
合計	35億358万円	100.0%

【問合せ】  
総務課(42) 3963

一方で、財政調整基金に1億7,048万円、公共施設整備基金に1億円を積み立てる等、計画的な財政運営に留意した予算執行を行いました。町税等自主財源の乏しい厳しい財政状況ですが、経常経費の節減に努め、効果の期待できる事業に予算を重点配分できるよう、引き続き取り組んでまいります。

また、伊豆トレイルランニンググレース大会への補助等、地域活性化への取り組みに対する支援や東日本大震災で影響を受けた中小企業を対象とした災害対策資金利子補給事業や住宅のリフォーム費用に対する助成、青年就農給付金事業等の農業後継者対策事業も展開し、地域経済の活性化につながる施策を実施しました。

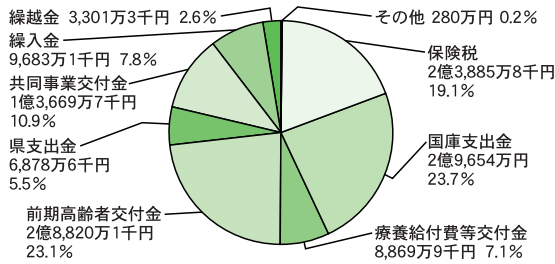
地域支えあい事業や不妊治療費助成を新たに開始し、安心安全なまちづくりに努めました。

# 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険 特別会計決算の概要

## 【特別会計決算の状況】

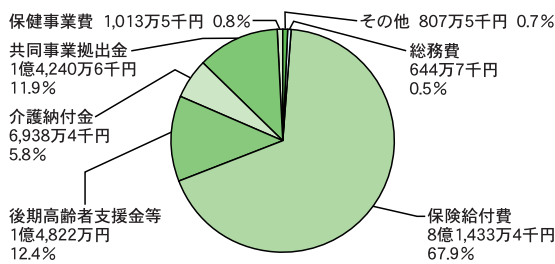
特別会計	被保険者数	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	2,964人	12億5,052万円	11億9,900万1千円	5,151万9千円
後期高齢者医療	1,675人	1億744万5千円	1億518万9千円	225万6千円
介護保険	2,944人	8億863万円	7億9,758万7千円	1,104万3千円

### 国保歳入合計 12億5,052万円



1人当たりの保険税 80,705円

### 国保歳出合計 11億9,900万1千円



1人当たりの医療費 326,831円

### 国民健康保険特別会計

平成24年度の国民健康保険への加入者(年平均)は、2,964人で、総人口に占める割合は38.7割となりました。世帯数では総世帯数の53.7割となる1,654世帯が加入しています。

特別会計の歳入総額は12億5,052万円(前年度比104.8割)、5,709万9,000円(前年度比110.0割)の増、歳出総額は11億9,900万1千円(前年度比109.2割)、1,878万円の減)となりました。

円(の増)、歳出総額は11億9,900万1,000円(前年度比103.3割)、3,859万3,000円の増)となり、歳入歳出差引額は5,151万9,000円の黒字決算となりました。しかし、基金繰入金や繰越金を除く単年度収支で見ると、2,046万1,000円の赤字となっており厳しい状況が続いています。

歳入では、会計の根幹をなす国民健康保険税が2億3,885万8,000円(前年度比92.7割、1,878万円の減)となり、一方歳出では、保険給付費

(一般の場合は7割等、町が負担する分)が8億1,433万4,000円(前年度比103.2割)、2,524万5,000円(の増)となりました。

保険給付費等支払準備基金の状況は、財源不足を補うため、3,963万7,000円を取り崩し、67万円を積み立てた結果、残高は1,287万円となりました。

今後とも、医療費の節約に取り組みいただきますようご協力をお願いします。

### 後期高齢者医療特別会計

平成24年度の被保険者数(年平均)は、1,675人で、総人口に占める割合は21.8割となりました。

特別会計の歳入総額は1億744万5,000円(前年度比100.8割)、81万8,000円の増)、歳出総額は1億518万9,000円(前年度比100.7割)、71万2,000円の増)となり、歳入歳出差引額は225万6,000円となりました。

歳入では、後期高齢者医療保険料が7,436万8,000円(前年度比101.0割)、75,000円の増)となり、被保険者一人当たりの保険料は4万4,399円となりました。

円(前年度比101.0割、75,000円の増)となり、被保険者一人当たりの保険料は4万4,399円となりました。

### 介護保険特別会計

平成25年3月末現在、65歳以上の被保険者数は2,944人、その内、要介護(要支援含む)認定者数は557人(192割)となりました。

特別会計の歳入総額は8億63万9千円(前年度比99.2割)、671万1,000円の減)、歳出総額は7億9,758万7,000円(前年度比98.9割)、8,000円(前年度比98.9割)、14万4,000円の減)となり、歳入歳出差引額は1,104万3,000円となりました。

この内、保険給付費は7億5,784万1,000円で、前年度比82.3万7,000円、1.1割の微減になりました。

今後は、基本チェックリストによるアドバイスや、介護予防事業の充実により、要介護認定者の減少を目指します。

### 【問合せ】

健康福祉課 (42) 3966

# 財政健全化法に基づく

# 健全化比率等の公表

## 財政健全化判断比率とは？

財政健全化判断比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、

自治体の財政破たんを未然に防ぐことを目的として、自治体の会計である一般会計、特別会計（企業会計含む）等、自治体の財政状況を明らかにするため、毎年度の決算時に算定する「健全化判断比率」および「資金不足比率」のことをいいます。

## 「健全化判断比率」とは？

次の4つの比率をいいます。

- ・ 実質赤字比率
- ・ 連結実質赤字比率
- ・ 実質公債費比率
- ・ 将来負担比率

健全化判断比率（公営企業は「資金不足比率」）では、財政の危険信号を示す『早期健全化基準』（公営企業は「経営健全化基準」と財政破たん状態（会社でいう「倒産」）を示す『財政再生基準』があり、比率が基準以上になると、国

や県の手助けや管理の下、財政再生に取り組まなければなりません。

### （財政健全化判断比率）

健全化指標	松崎町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (-)	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	- (-)	20.0%	40.0%
実質公債費比率	6.3% (6.2%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	1.9% (11.0%)	350.0%	なし

※「-」は黒字の意味で、（ ）内は前年の比率

### （公営企業に係る資金不足比率）

特別会計名	松崎町の比率	経営健全化基準	財政再生基準
水道事業会計	- (-)	20.0%	なし
温泉事業会計	- (-)		
伊豆まつざき荘計	- (-)		
岩地集落排水事業計	- (-)		
石部集落排水事業計	- (-)		
雲見集落排水事業計	- (-)		

※「-」は黒字の意味で、（ ）内は前年の比率

【問合せ】  
総務課（42）3963

町の財政健全化判断比率は？  
平成24年度決算による算定では、全ての判断比率が財政健全化法での基準を下回っており、平成23年度決算に引き続いて財政の健全性を確保しています。

しかし、町の収入における町税等自主財源の占める割合は、3割台で県内でも最低水準となっております。自治体の財政状況は、さまざまな要因により比較・分析する必要がありますので、今後も、この法律を含めたあらゆる方法・分析により、健全財政の推進に努めます。

## 帯広市親善訪問団が来町されました

開拓姉妹都市締結35周年の記念事業として、9月12日（木）から15日（日）まで3泊4日の日程で、米沢帯広市長を団長とした一行20人が松崎町を訪れました。

役場の表敬訪問に際して記念式典が行われ、松崎町から記念品として、町文化協会長の石田博之氏が撮影した雲見海岸から望む「冬の赤富士」の写真を贈呈しました。



齋藤町長から米沢帯広市長へ記念品目録贈呈



「まゆ玉人形作り」を体験

一行は、依田勉三翁のお墓参りやゆかりのある大沢温泉ホテル、三余荘資料館、桜葉塩漬け工場等の見学や光る泥団子作り、まゆ玉人形作り体験を行ったほか、松崎海岸で開催された「第14回伊豆半島太鼓フェスティバル」を鑑賞され、勇壮な太鼓の響きを楽しまれました。

今後、10月28日（月）から2泊3日の予定で、松崎町からの親善訪問団が、晩秋の帯広を訪問する予定です。

【問合せ】  
企画観光課（42）3964

# 交通安全ポスターコンクール

小・中学校の夏休み課題として募集した交通安全ポスターコンクールの審査会が9月12日(木)、環境センター文化ホールで行われました。

このコンクールは、交通安全ポスターを作製することにより、家族ぐるみで交通安全意識を高めてもらうことを目的に開催されています。

今回は、360点の応募があり、町長、交通安全対策委員、小・中学校の美術担当教諭等により審査が行われました。

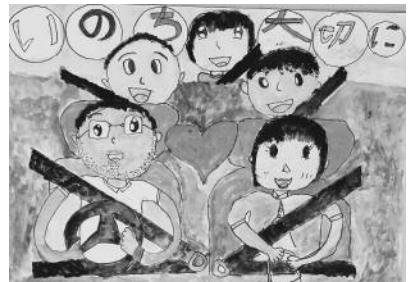
各部門の入賞者は次のとおりです。



審査の様子

- |                |      |           |
|----------------|------|-----------|
| 小学校低学年(1・2年)の部 | 最優秀賞 | 山本奈央(2年)  |
|                | 優秀賞  | 稲葉花奏(2年)  |
|                | 佳作   | 田所秀磨(1年)  |
|                | 佳作   | 山本悠月(2年)  |
|                | 佳作   | 関 夢波(1年)  |
|                | 佳作   | 山崎李音(2年)  |
| 小学校中学年(3・4年)の部 | 最優秀賞 | 土田倫生佳(4年) |
|                | 優秀賞  | 関 倅平(4年)  |
|                | 優秀賞  | 北島杏結(3年)  |
|                | 佳作   | 久保美心(3年)  |
|                | 佳作   | 佐野杏奈(4年)  |
|                | 佳作   | 石田紗為(4年)  |
| 小学校高学年(5・6年)の部 | 最優秀賞 | 山田采礼(5年)  |
|                | 優秀賞  | 石田竜一(5年)  |
|                | 優秀賞  | 指出真紀(5年)  |
|                | 佳作   | 大場洋輔(6年)  |
|                | 佳作   | 菊地美優(6年)  |
|                | 佳作   | 梅木佑斗(6年)  |
| 中学校の部          | 最優秀賞 | 佐藤碧海(1年)  |
|                | 優秀賞  | 田口 開(1年)  |
|                | 優秀賞  | 川田 路(1年)  |
|                | 佳作   | 土田馨仁(1年)  |
|                | 佳作   | 馬場惣莞(1年)  |
|                | 佳作   | 関 文菜(1年)  |
- (敬称略)

## 小学校低学年の部



【評】 家族の表情が良く、メッセージと合っている。

最優秀賞  
2年  
山本奈央さん

## 小学校中学年の部



【評】 周りの余白が効果的で、奥行や空間の広がりを感じられる。

最優秀賞  
4年  
土田倫生佳さん

## 小学校高学年の部



【評】 運転中の携帯電話の危険性が伝わる作品である。

最優秀賞  
5年  
山田采礼さん

## 中学校の部



【評】 絵や文字がはっきり出ており、背景の黒色を効果的に使った作品である。

最優秀賞  
1年  
佐藤碧海さん

9月1日(日)

# 総合防災訓練

「防災の日」の9月1日(日)、町内各地で、大規模地震や津波発生を想定した訓練が行われました。

松崎町では、35の全ての自主防災会、関係機関等約3,600人が参加しました。

各自自主防災会では、津波避難訓練、消火器・消火栓による初期消火訓練、防災資機材の点検等、地域の実情に応じた訓練が行われました。



吉田区消火栓訓練

岩科地区では、山口・指川・松尾・中村・野田・金沢の6地区が参加し、旧岩科小学校で会場型の訓練が行われました。

陸上自衛隊第1戦車大隊の隊員の指導による土のう積みや装甲車の体験乗車、消防団の指導による消火器での消火訓練や簡易担架による搬送訓練が行われ、救護所開設訓練では、治療の優先順位を決めるトリアージ等が実施されました。



救護所訓練

訓練の最後には、松崎町赤十字奉仕団が訓練で作ったハイゼックス(簡易包装食)による蒸しパンを参加者に試食していただきました。



松崎町赤十字奉仕団蒸しパン作り

東海地震説の発表後、地震がいつ来てもおかしくないといわれ、30年以上経過しました。

訓練内容がマンネリ化しているという声も聞かれますが、日頃の訓練を積み重ねておかないと、いざという時に適切な行動がとれませんので、今後も多くの皆様の訓練参加をお願いします。



## 【問合せ】

総務課(42) 3963

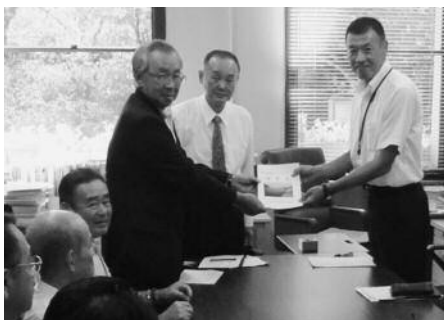
## 津波対策要望活動

8月28日(水)、町長と松崎地区の区長等11人が県庁を訪れ、那賀川河口の水門による津波対策や、松崎港海岸既設防潮堤のかさ上げ等津波対策の早期実現、町が今後取り組む岩地、石部、雲見漁港の津波対策に対する支援について、要望活動を行いました。

県からは「国も県も『比較的发生頻度の高い津波(レベル1)』に対しては、防潮堤等の施設で住民を守る。発生頻度の低い巨大津波(レベル2)に対しては、施設では防ぎきれないので、どのように逃げるかというソフト対策で対応する方針』である。『静岡県地震対策アクションプログラム2013』でも、松崎港海岸も含めた津波対策を今後10年間で進めることとなっている。どのような対策を進めるか検討し、皆様にプランを提示していきたい。松崎港海岸については防潮堤のかさ上げと那賀川河口の水門を一体で考えていきたい」との話がありました。

町の出席者からは「現状では、レベル1の津波でも松崎地区は水浸しになってしまう。レベル2の津波は防げなくても減災につながるので防潮堤のかさ上げや水門は必要、たと思う。松崎町は高齢化率も高いが、若い人たちの将来のためにも津波対策施設の早期実現をお願いしたい」との意見が出されました。

町長からも「那賀川河口の水門建設については、これまでの経過もあるが、先人から受け継いだ美しい町並みを残すためにも、ぜひ一体的な整備を進めてほしい。漁港施設の整備にも支援をお願いしたい」と要望しました。



要望活動の様子

## 【問合せ】

産業建設課(42) 3965

# 静岡県消防操法大会 第1分団第3小隊(道部)が出場!

9月8日(日)に静岡県消防学校で第34回静岡県消防操法大会が開催されました。

大会には、ポンプ車操法・小型ポンプ操法それぞれの部に、県内10支部から各代表チームが出場し、消防活動の基本となる規律、機械等の取り扱い技術やタイムを競い合いました。



賀茂支部からは、ポンプ車操法の部に松崎町消防団第1分団第3小隊(道部)、小型ポンプ操法の部に西伊豆町消防団が代表として出場しました。いずれも入賞は逃しましたが、4月下旬から続けてきた訓練の成果を発揮し、入賞チームに引けをとらない、堂々とした操法を大勢の消防関係者の前で披露しました。

両部門とも御殿場市消防団が優勝に輝きました。



【問合せ】  
総務課(42) 3963

## ふるさと納税へのご協力ありがとうございました

- 横瀬 克孝様 (埼玉県在住)
- 宮本五三雄様 (東京都在住)

## イベント・催し紹介

### 雲見温泉海賊料理まつり

【日時】10月14日(月・祝日)  
午前9時から

【場所】雲見海岸

【内容】戦国時代に北条氏へ船や鯨を献上したという故事にちなみ、鯨に見立てたカジキマグロの献上儀式が行われます。献上されたカジキマグロは、来場者の前で豪快に解体され、刺身として無料で振舞われます。

## 松崎文芸

— 短歌 —

千手観音と思はず呼びたり枝を広げ

どっしりと立つ樞の大木

岡村芳子

萌黄色に染まりし山のうとましく

流れゆく雲に眼をうつす

山本智恵子

子らの来る準備にまづはベランダに

布団を干したり青空の下

杉山安紀子

遠出する明日を思へば雲の間に

青空見えてほっとしてある

土屋君子

カステラとカーネーションの贈りもの

母と呼ばれる幸せをおもふ

細田光代



# ～まちのできごと～

## 8/21 防災講演会



環境センター文化ホールでは、常葉大学の阿部郁男准教授を講師に、防災講演会「静岡県第4次地震被害想定とその備え」が開催されました。

## 9/8 第18回みなとでみんなと海のピカ市



第18回みなとでみんなと海のピカ市が、環境センターで開催されました。リサイクル・フリーマーケット等のブース約40店が出店し、多くの来場者で賑わいました。

## 9/3 花とロマンソフトボール大会 江奈1・2区優勝



総合グラウンドでは、町内11地区が出場し、花とロマンソフトボール大会が行われました。トーナメント戦を勝ち抜き、江奈1・2区が優勝しました。

## 9/14 第14回伊豆半島太鼓フェスティバル



松崎海岸特設ステージでは、第14回伊豆半島太鼓フェスティバルが開催され、県内で活躍している5団体が出演し、夕暮れ空や海を背景に力強い太鼓の演奏を披露しました。

このまちづくりが外部からどのように評価されるのか、また、今後のまちづくりを推進する一つの目標を掲げるため、「日本でも美しい村」連合に加盟を申請しました。この結果、8月29日(木)に内定をいただき、10月に開催される臨時総会にて正式に加盟が承認されることになりました。連合では、5年ごとに加盟後の取り組みに対して再審査が行われますので、今回の連合加盟を新

## 「日本で最も美しい村」連合への加盟が内定

町民の皆様もご存知のとおり、松崎町は昭和53年から「花とロマンのふる里づくり」を基本にまちづくりを推進しています。

私は、町長就任時にこの施策をさらに推進させるため、「平成の花とロマンのふる里づくり」を掲げ、松崎らしい田舎づくり、人づくり、また少子高齢化を土台にしたコミュニティづくりを目標に掲げました。

たなまちづくりのスタートと考え、町民一人一人が主体的に参画し、地域や団体と行政が一体となったまちづくりを積極的に推進していきたいと考えています。また、連合での活動は、今年度からスタートした第5次総合計画で定めた町の将来像でもあります。

このため、連合による再審査は、町の総合計画の達成度を外部から審査していただく機会にもなります。今後も計画に定めた町の将来像に向け、職員に対し、役場は「住民の皆様」に役に立つ人がいる場所であることを常に認識させ、地域の皆様とともに活動することを指示してまいりますので、県内で最も小さい町が光り輝ける町になるように町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 町長室からこんにちは ④6

松崎町長

齋藤 文彦

### 町の人口と世帯

(平成25年 8月31日現在)  
( )内は前月比

総人口	7,480人	(-9人)
男	3,544人	(-4人)
女	3,936人	(-5人)
世帯数	3,061戸	(+5戸)
転入	12人	転出 17人
出生	6人	死亡 10人

### 町の交通事故

平成25年 8月発生分  
( )内は前年同月比

人身事故	4件	(±0)
物損事故	33件	(+23)
死者	0人	(±0)
傷者	4人	(-1)

### おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
明伏	山崎と志子	86	初男
峰輪	馬場哲男	86	ちか
野田	菊池ちかよ	90	哲也
岩地	高橋ちよ	104	忠一
中区	後藤熊男	87	和子
山口	壬生三枝子	92	忠之
船田	山本泰久	72	久米代
江奈1	山本利男	81	博人
船田	船津明	91	増子

### (8月届出分) 戸籍だより

### おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
雲見	陽鞠 <small>ひまり</small>	女	寺田邦彦
中区	瑠希明 <small>るきあ</small>	男	高橋成典
櫻田	英茉 <small>えいま</small>	女	山田雄介
石部	敬典 <small>けいけん</small>	男	青木正憲
明伏	大智 <small>だいち</small>	男	山本孝之
江奈4	佑斗 <small>ゆうと</small>	男	小泉隼人

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

### ストップ！悪質商法被害

あなたも賢い消費者に②！

「いい話があります—  
依然減らない投資商品詐欺」

これまでもこのコーナーでは、あやしげな権利、外貨といった投資商品について、二〇〇のパンフレットは届いていないか？事情があつて当社が直接購入できないので、かわりに購入してもらえないか？5割増しの金額で買い取らせてもらう—等と電話をし、その後、タイミングよく、その投資商品を販売する者から電話が入り、購入してしまうといった、いわゆる劇場型投資商品詐欺を取り上げました。こうした被害が現在でも発生しているようです。

被害に遭った場合、詐欺を行った事業者は雲隠れしてしまうことも多く、被害回復は容易ではありません。

うまい話であれば他人に勧めるはずはありません。電話がかかってくるあなたは狙われているのです。



【問合せ】企画観光課(42) 3964  
(文と絵) 司法書士 山田 茂樹

### 地域交流通信

#### 松本市安曇地区から 乗鞍高原の郷土料理 ぶどう葉ずし作り

安曇野地区在住で75歳以上の1人暮らし高齢者によって構成される「ふれあいの会」では、8月2日(金)に料理教室を開催しました。

食生活改善推進協議会の方々に講師に夏と冬に開催される料理教室は、山間部で移動が困難な皆様にとって、普段会えない人同士が交流する大切な場となっています。

さて、今回作った料理は乗鞍高原の郷土料理であり、お盆に作られる行事食でもある「ぶどう葉ずし」です。

酢飯を蒸らしてから作る寿司とは違い、山ぶどうの葉にアツアツの酢飯を乗せ、そこにひたひたの酢でしめた塩まを挟み込んで半分に合わせ、熱によってぶどう葉の香りが酢飯に移ればでき上がり。ぶどう葉の優しい香りが食欲をそそります。

魚を使って日持ちするように工夫されているため、夏場でも3日は保存できるこのこ



香りが移ると葉っぱの色が変わる



ぶどう葉ずし作りの様子

と。冷凍庫等がなかった時代の生活の知恵を感じます。安曇にはこの他にも地域性あふれる郷土料理がたくさんあります。機会があれば、松崎町の皆様にもぜひ味わっていただきたいです。  
(松本市社協 橋本 亮平)